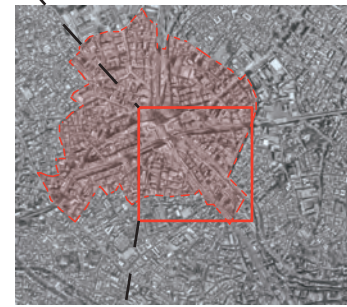
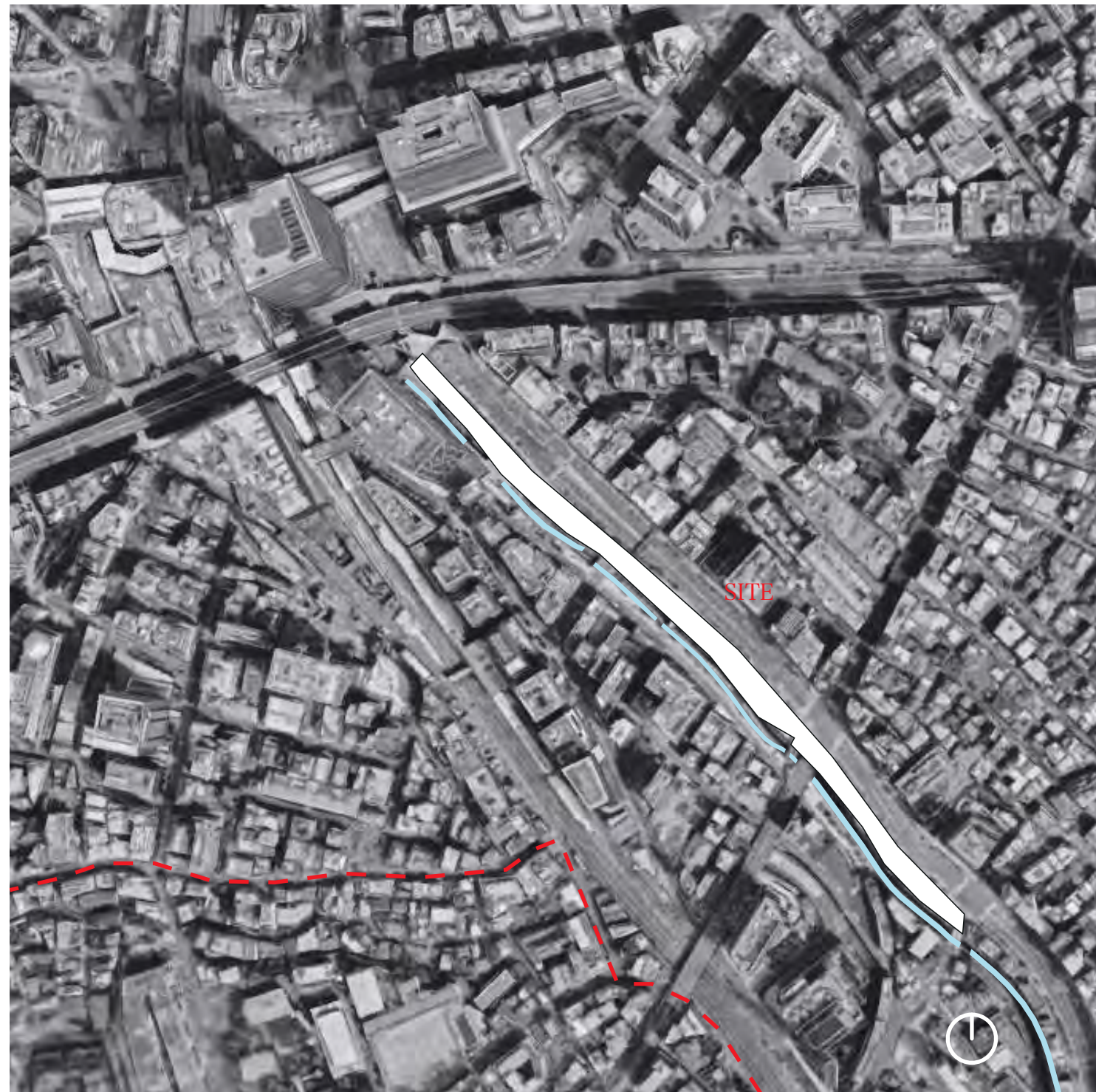


― 建築の輪郭から渋谷の都市像を捉え直す ―

街の換気帯



選定敷地

複雑化した街の構造の見直しや災害時対策など顕在化した社会課題が問題視される中、東急グループは広域渋谷圏（GreaterSHIBUYA）構想をビジョンに掲げ回遊性と魅力溢れる面としてのまちづくりを進めている。

渋谷再開発に対する新たな建築像の提案を目指し、特定都市再生緊急整備地区内から渋谷川と明治通りに挟まれた約 550m の範囲を敷地として選定した。

再開発エリアの中心地を渋谷駅から伸びる道路インフラに沿うように配置することで人間の歩道空間を建築に組み込み渋谷の中心地と周辺エリアを物理的に繋いでいく。また新たな中心地として渋谷中心部と接続しながら分散的に開発を進めて行くことを目指す。

選定敷地は現在オフィスビルが立ち並ぶ。敷地に隣接する渋谷川対岸は 2013 年東横線の地下化と渋谷ストリームの開発に伴い官民連携による「新しい遊歩道（渋谷リバーストリート）」が整備され渋谷川が見られるよう再生された。

対象敷地は現在も渋谷川の障壁として建築が建ち並んでいることで、数少ない自然環境が建築によって隠蔽された状態にある。

建築の輪郭が規定した都市像

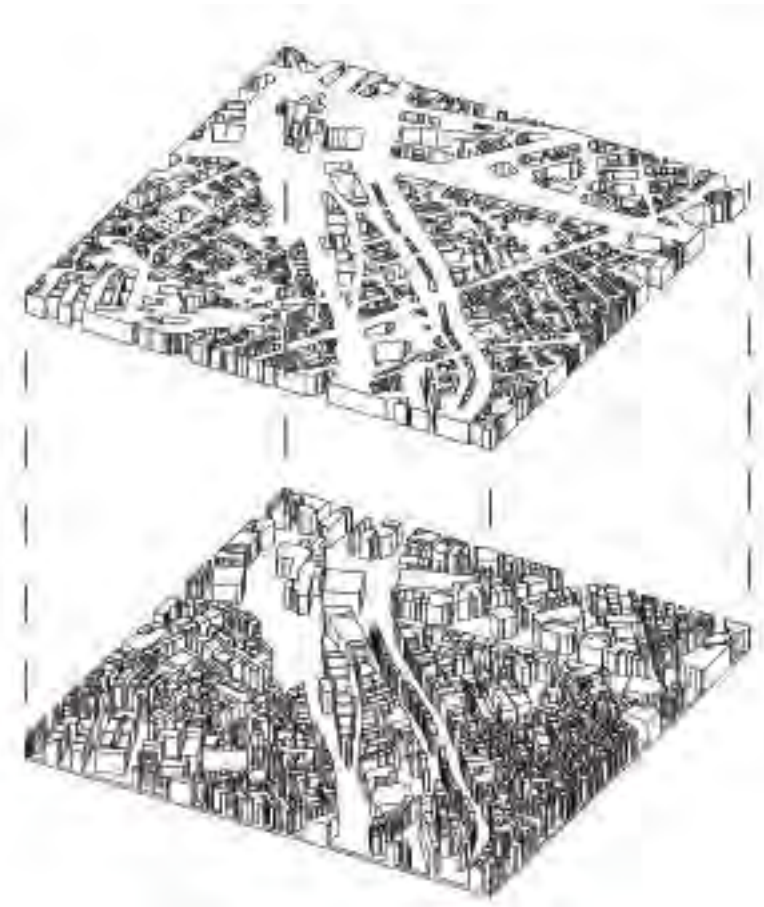
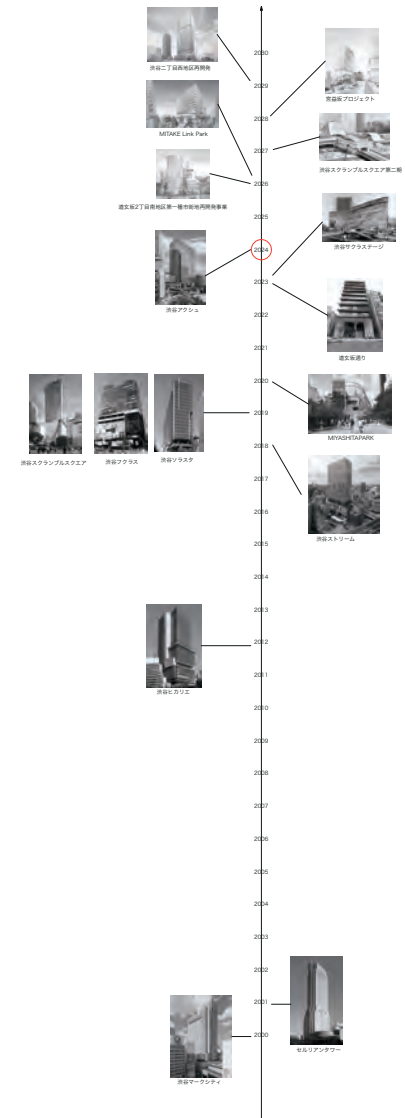
建築の内外は対照的な関係にあるが境界として現れる建物の輪郭は本来内外とを同時に構成する両儀的な役割を担うものである。

都市部では資本の一元化の流れの中で場のコンテキストを無化するように建築の内部空間に価値が置かれ、外部空間は二時的な空間の表れとして扱われることで、内外でヒエラルキーが生まれている。渋谷はこういった社会構造が生み出した代表的な都市の一つであり、建築間の関係性や外部空間は偶然的に表出する。このような空白空間は起伏豊かな渋谷において、結果として若者の活動を喚起する場として新たな文化の発信拠点として存在してきた。

路地のようなプライベート性の高い死角空間や幹線道路や駅前広場のような都市のボイド空間は目的的に計画された建物の輪郭によって規定される。この空白空間こそ渋谷らしさであり、人間の主体的な活動が表出する場であると考える。

一方で再開発による大規模な商業施設や娯楽施設は、ブラックボックス化したハコモノとして建築単体で独立し画一的な建築の輪郭が街を単一に規定している。また再開発に伴うアーバンコア、歩行者デッキの基盤整備が、助長するように人の活動は建築内部で留まり地面に降りることなく渋谷を体験することになる。

効率的になった一方で人の活動の場は渋谷川が作り出す自然の起伏から水平な人口地盤へと変わり今ある渋谷の限界せいは強制的に変化を強いられることが予想される。





建物から人の活動が溢れる様子

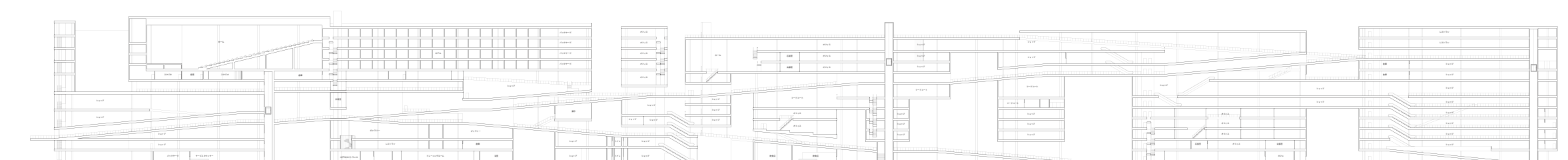
外部を規定する建物の輪郭を滞在空間の補助線に見立ててみると計画的に用意された場のように建物の輪郭が内外とを同時に構成する両儀的な役割を担うものであることがわかる。

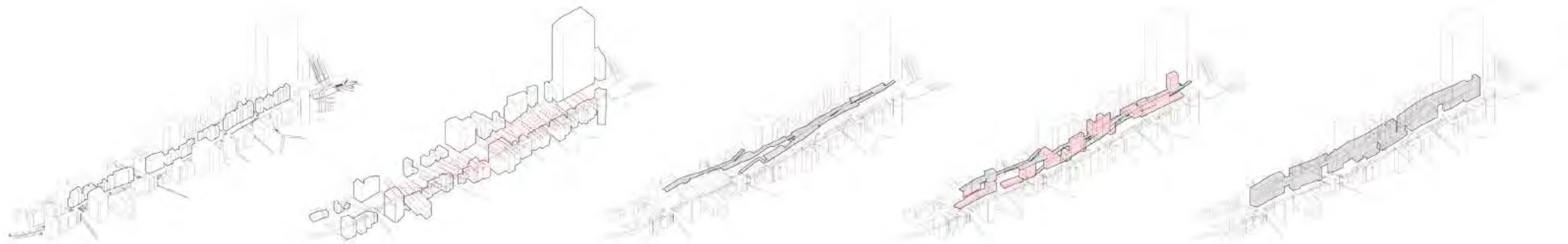
また、起伏に富んだ渋谷では路地のような小さなボイドから大規模建築による大きなボイド空間が入り混じり、外部空間は形を変えながら流動的な人の動きを作り出している。



空白のスタディ・設計手法

渋谷の空白空間が文化的な街へと成長させた重要な役割を担っていると考え建築に再起的に導入する。建築の外部部分を渋谷の空白空間の考察をもとに計画し、それによって生まれた余白に用途を振り分けていく方法を取る。これまでとは反転させたプロセスを踏むことで計画された外部の輪郭が内部を規定し渋谷の空白が持つ特質を建築内部に取り込み理想とされる建築寸法を捉え直すきっかけになる新たな建築像を目指す。



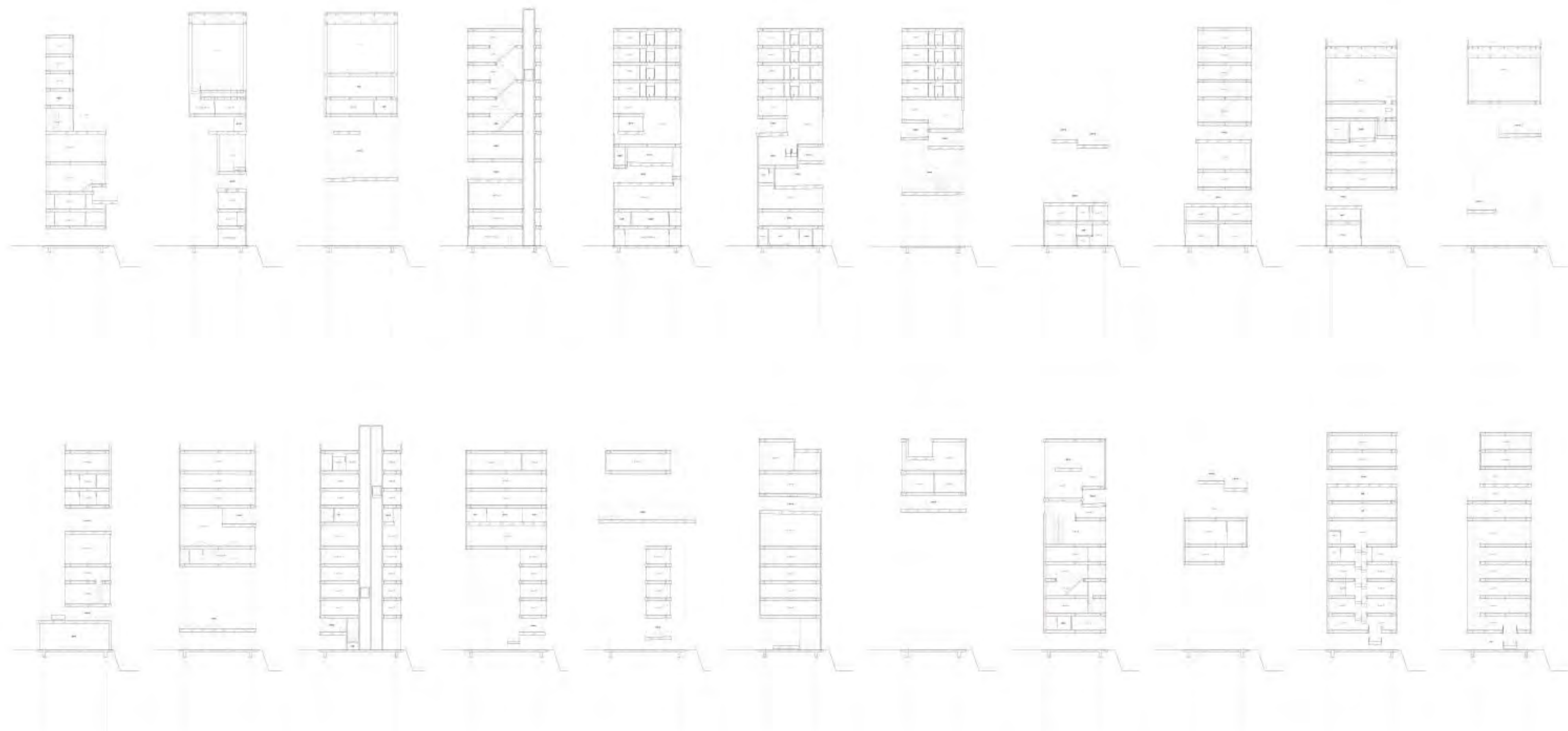


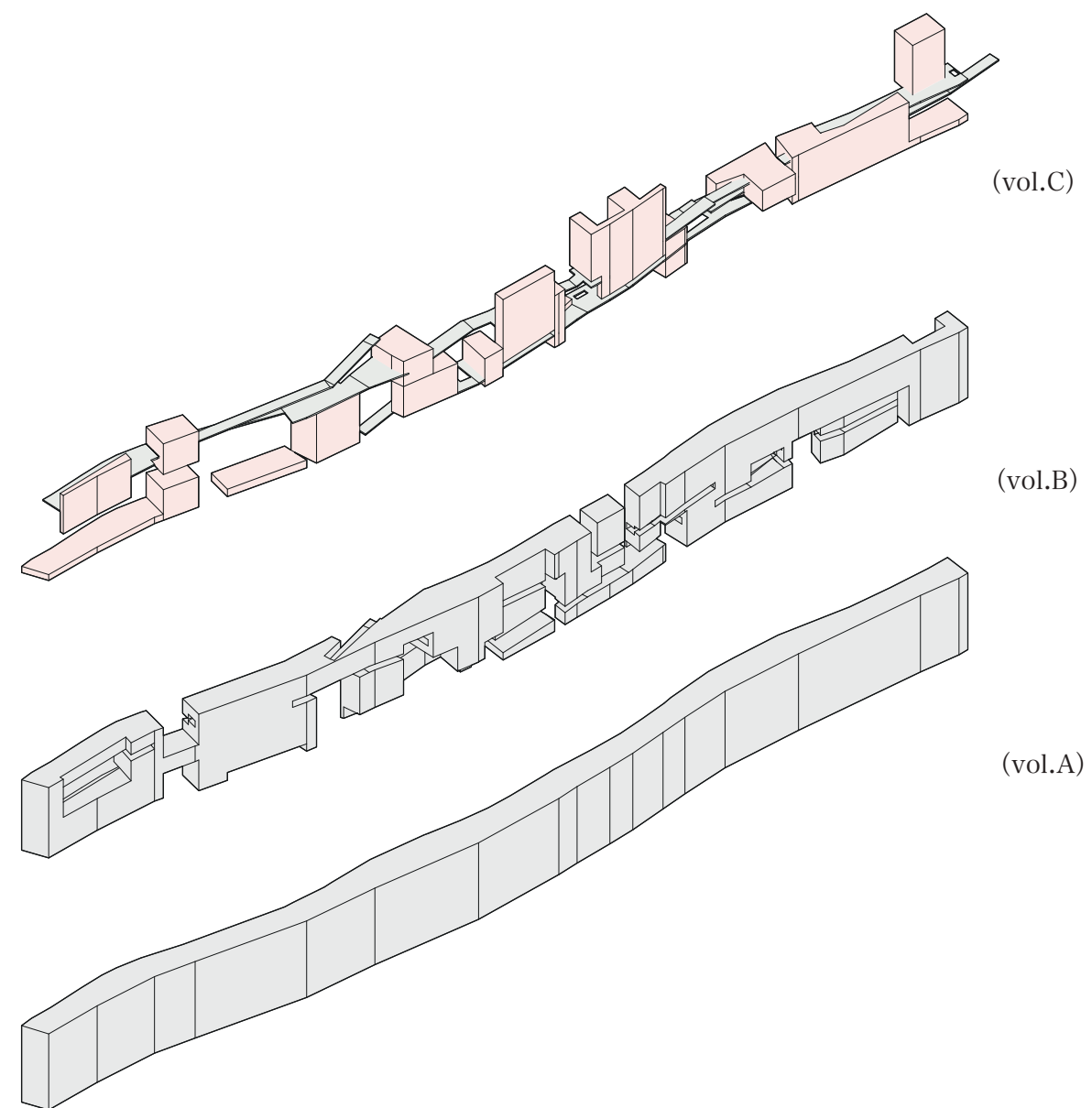
再開発計画敷地を既存のインフラ（明治通り）沿いに配置。
渋谷中心地と周辺エリアが接続されることで分散的に開発を進める。

既存建物のグリッドではなく渋谷の外部の規定要素である周辺
建物の輪郭線を延長することで補助線を設定した。

外部空間は渋谷の路面の価値を建築上層まで引き上げるように
スロープ型の遊歩道とし歩道から緩やかに敷地へと動線を引き
込む。

遊歩道は渋谷の外部空間を踏襲するよう、周辺からの補助線に
よって決定したボイドに繋がる。





(vol.C)

(vol.B)

(vol.A)

内部の決定

敷地から立ち上がる最大面積ボリューム（vol.A）から外部ボリューム（vol.B）をくり抜くことでその余白部分から内部ボリューム（vol.C）を決定する。
周辺の外部から規定された内部空間はインフラによって分断された都市に関係性を与えることができないだろうか。

